

【Harst Bronzetongue】

説明

解説

■ 神殿

嵐の神殿。小神。

■ 称号、職能

物々交換の発明者。氏族内で活動する商人の神。“穀の余り”。“青銅の舌”。“執事”。

■ 概略

イサリーズの長男。オーランスが多くの神々を参集して嵐の部族を形成したとき、嵐語が理解出来ない神々のために、互いに意思疎通ができる共通の言葉を作り、嵐語が広まるまではこの言語が使われた。同じように人間には交易語を教えた。

氏族の食料や生産物を管理する役目を受け持つ。また、族内で余った物を交易商などと物々交換して交易を行う。

組織

■ 相、カルト

青銅の舌のハーストはイサリーズの下位カルト。

“執事” ハーストはすべての父オーランスの下位カルト。

近親

■ 両親

父親はイサリーズ。

■ 兄弟姉妹

同父兄弟に黄金の舌のグルサ、白銀の舌のガーゼーンがいる。

■ 配偶者

怠け者の王ユダム = アライアムの娘。

別名

すべての父オーランスの下位カルトでは“執事” ハーストと呼ばれる。

イサリーズの下位カルトでは青銅の舌のハーストと呼ばれる。

参考文献

- ・『ゆりかご河』 p.142-145
- ・『Thunder Rebel』 p.233

- 『Storm Tribe』 p.117